

ZERO別冊 歯牙形態

監修:片岡繁夫 著:脇田太裕

自然感のある補綴装置を製作するには、色調再現とともに適切な歯牙形態を付与することが重要となる。本書では、歯科技工士のポストグラデュエートコース「大阪セラミックトレーニングセンター」大阪校 新校長の脇田太裕氏が、歯牙形態の捉え方、表現方法を余すことなく伝授。Ⅰ部では、「歯牙の外形線」、「稜線、バランス、錯覚」「6前歯のバランス」「表面性状」などを取り上げ、形態把握のための具体的なポイントを説明している。Ⅱ部では、天然歯とその模型写真の両者を見やすく提示。方形・尖形・円形などの形態を分類し、それぞれの歯牙形態の特徴と捉え方をまとめた。

・目次(予定)

第Ⅰ部 歯牙形態の表現方法

1. 歯牙の外形線
2. 稜線、バランス、錯覚
3. 稜線
4. 6前歯のバランス
5. 歯牙形態の捉え方

第Ⅱ部 天然歯にみる歯牙形態の特徴

—写真と模型から天然歯を分類—



・A4判 ・144ページ ・オールカラー ・定価(本体4,600円+税)

ZERO publishing × 永末書店